

第73期

中間報告書

平成23年4月1日～平成23年9月30日



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援ご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

ここに、当社第73期中間期（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の事業概況につき、中間報告書を作成いたしましたので、次のとおりご報告申し上げます。

なにとぞ株主の皆様のご支援をお願い申し上げます。

平成23年11月

取締役社長 **牧野二郎**

当中間期の経営成績

世界経済は金融危機による不安定な状態が続いているにもかかわらず、製造業の生産活動は拡大傾向にあり資本財の設備投資は幅広い地域で堅調に進んでいます。

その中であって、当社は活発化する工作機械の需要に合わせて営業活動を強化してまいりました。当第2四半期連結受注累計（4－9月期）は、前年同期比46%増の644億14百万円、個別は68%増の399億20百万円となりました。最盛期（2007年3月期）に迫る水準です。

地域別の状況は以下のとおりです。

日本

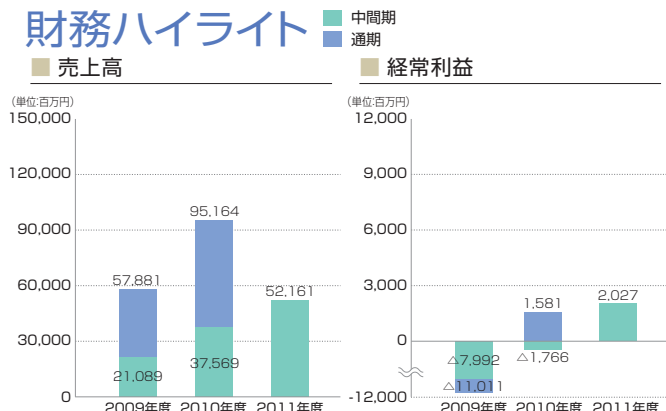
当上期における国内受注は前年同期比79%増となりました。主となる業種は産業機械、建設機械であり、また中堅の自動車部品メーカーからの受注も急回復しました。機種別では横形マシニングセンタが中心です。

国内最大の顧客である金型産業においても、新製品や新技術に対応した設備投資の動きが出てきました。より付加価値の高い金型製作に向けた技術革新のためです。当社は、このイノベーションを具体化する工作機械の開発に努めてまいります。ただし円高の影響もあり金型産業が本格化するには若干の時間が必要と考えます。

目次

株主の皆様へ	1
連結財務諸表	3
主な海外拠点及び地域別売上高推移	5
トピックス、会社の概要	7
当社製品及び機種別売上高推移	9
株式の状況、株主メモ	10

財務ハイライト



アジア

当上期のアジア子会社の受注は、引き続き高い水準で推移しています。

中国では、インフレ抑制策による金利引き締めにより、企業規模の小さな現地メーカーからの受注が減速しています。しかし外資系メーカーは引き続き活発な設備投資を行っており、全体的には横ばいで推移しました。

インドでは、自動車・建機・農機関連で横形マシニングセンタの受注が増加しました。当上期の受注は前年同期比67%増となっています。

アメリカ

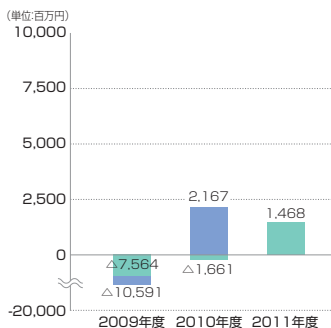
ドル安に対応するため販売条件の改善を進めています。しかしながら当上期の受注は前年同期比29%増となり、過去最高の受注額となりました。自動車産業からは小型車の低燃費エンジンに対する設備投資で横形マシニングセンタa51nx・a61nxを数多く受注しました。航空機産業からは機体構造部品（アルミ材）加工向けの5軸マシニングセンタMAG/Aの受注が顕著になっています。さらに当社が注力してきた難削材（チタン材）加工分野では、新製品のMAG/Tを複数台受注しました。

ヨーロッパ

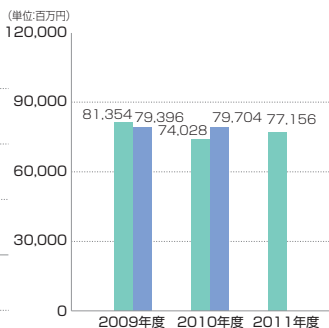
ユーロ安により同様の改善を進めています。欧州工作機械メーカーとの厳しい競争状態ですが、競合側の納期の長期化により、当上期の受注は前年同期比74%増と回復しました。営業活動は引き続き厳しいものとなりますが、航空機部品や微細加工向けなどの特長ある製品で対抗する所存です。

このような環境の中、当第2四半期連結累計期間における売上高は521億61百万円（前年同期比38.8%増）、営業利益27億56百万円（前年同期は9億34百万円の営業損失）、経常利益20億27百万円（前年同期は17億66百万円の経常損失）、純利益14億68百万円（前年同期は16億61百万円の純損失）となりました。

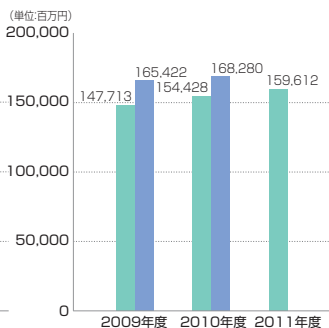
■ 中間(当期)純利益



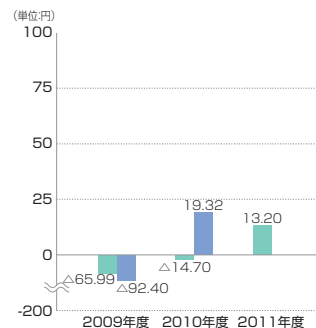
■ 純資産



■ 総資産



■ 1株当たり中間(当期)純利益



□ 中間連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	当中間連結会計期間末 平成23年9月30日	前連結会計年度末 平成23年3月31日
(資 産 の 部)		
流 動 資 産	106,374	112,476
現金及び預金	26,062	36,714
受取手形及び売掛金	30,867	31,626
有 価 証 券	2,019	2,021
商品及び製品	14,049	8,640
仕 掛 品	12,444	10,922
原材料及び貯蔵品	16,964	17,671
繰延税金資産	1,781	1,906
その他の流動資産	2,889	3,865
貸倒引当金	△ 703	△ 893
固 定 資 産	53,238	55,804
有形固定資産	36,747	37,280
建物及び構築物	19,857	20,503
機械装置及び運搬具	2,727	2,890
工具、器具及び備品	1,794	2,037
土 地	9,771	9,769
リ ー ス 資 産	1,992	1,865
建設仮勘定	604	213
無形固定資産	946	957
その他の無形固定資産	946	957
投資その他の資産	15,544	17,565
投資有価証券	10,137	11,790
長期貸付金	641	662
繰延税金資産	780	937
その他の投資	4,555	4,778
貸倒引当金	△ 569	△ 603
資 産 合 計	159,612	168,280

科 目	当中間連結会計期間末 平成23年9月30日	前連結会計年度末 平成23年3月31日
(負 債 の 部)		
流 動 負 債	40,199	43,523
支払手形及び買掛金	21,832	24,673
短期借入金	3,349	2,322
1年内返済予定の長期借入金	3,062	3,011
リ ー ス 債 務	477	678
未払法人税等	778	1,116
その他の流動負債	10,699	11,722
固 定 負 債	42,256	45,052
社 債	20,000	20,000
長期借入金	14,690	16,268
リ ー ス 債 務	2,178	2,103
繰延税金負債	3,314	3,944
退職給付引当金	343	462
役員退職慰労引当金	15	295
負 の の れ ん	75	87
その他の固定負債	1,637	1,890
負 債 合 計	82,455	88,576
(純 資 産 の 部)		
株 主 資 本	82,209	81,185
資 本 金	19,263	19,263
資 本 剰 余 金	32,595	32,595
利 益 剰 余 金	35,126	34,099
自 己 株 式	△ 4,775	△ 4,772
その他の包括利益累計額	△ 5,669	△ 2,077
その他有価証券評価差額金	3,284	4,299
繰延ヘッジ損益	△ 6	△ 58
為替換算調整勘定	△ 8,946	△ 6,318
少数株主持分	617	597
純 資 産 合 計	77,156	79,704
負 債 純 資 産 合 計	159,612	168,280

□ 中間連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨て)

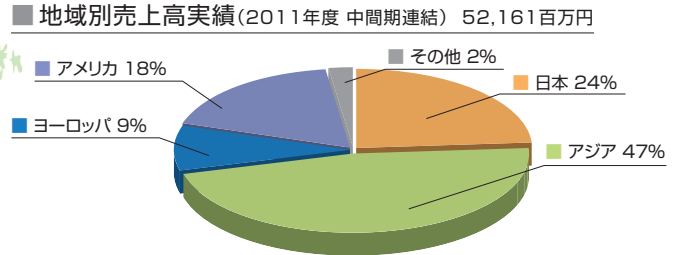
科 目	当中間連結会計期間 自 平成23年4月 1日 至 平成23年9月30日	前中間連結会計期間 自 平成22年4月 1日 至 平成22年9月30日
売 上 高	52,161	37,569
売 上 原 価	37,821	28,483
売 上 総 利 益	14,339	9,085
販売費及び一般管理費	11,583	10,020
営業利益又は営業損失(△)	2,756	△ 934
営 業 外 収 益	285	407
受取利息及び配当金	152	132
そ の 他 の 収 益	132	274
営 業 外 費 用	1,014	1,238
支 払 利 息	411	510
為 替 差 損	404	599
そ の 他 の 費 用	197	128
経常利益又は経常損失(△)	2,027	△ 1,766
特 別 利 益	29	72
固定資産売却益	29	34
貸倒引当金戻入額	—	38
特 別 損 失	—	13
固定資産除却損	—	13
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	2,056	△ 1,707
法 人 税 等	564	△ 50
少数株主損益調整前中間純利益又は 少数株主損益調整前中間純損失(△)	1,492	△ 1,656
少 数 株 主 利 益	23	4
中間純利益又は中間純損失(△)	1,468	△ 1,661

□ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	当中間連結会計期間 自 平成23年4月 1日 至 平成23年9月30日	前中間連結会計期間 自 平成22年4月 1日 至 平成22年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 6,482	2,179
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,861	7,707
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,148	△ 12,340
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 1,158	△ 704
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 10,651	△ 3,157
現金及び現金同等物の 期首残高	36,604	42,790
現金及び現金同等物の 中間期末残高	25,952	39,632

主な海外拠点及び地域別売上高推移



MAKINO INC. (アメリカ・メイソン)

テクニカルセンタ

販売、サービス、機械展示、アプリケーションサポートの各機能を持つ拠点です。

ヨーロッパにはドイツ、イタリア、スロバキア、北米にはアメリカ、カナダ、中米にはメキシコにあります。

営業所

販売、サービスの機能を持つ拠点です。

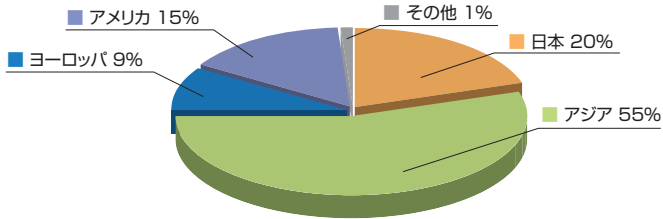


MAKINO Europe GmbH (ドイツ・ハンブルク)

●ヨーロッパ



■ 地域別売上高実績(2010年度 中間期連結) 37,569百万円



- ★ 工場／テクニカルセンタ
- ▲ テクニカルセンタ
- 営業、サービス拠点

● アジア



アジアのテクニカルセンタは、シンガポール、中国、インド、タイにあります。



MAKINO ASIA PTE LTD (シンガポール)

■ヨーロッパの工作機械見本市「EMO2011」に出展



世界最大規模の工作機械見本市「EMO2011」が、9月にドイツのハノーバーで開催されました。当社は航空機・微細加工などの分野に向けて加工精度をアピールする展示を行いました。特に5軸加工機は複数台出展して来場者の注目を集めました。予想を上回る数のユーザに来場いただき、今後の拡販活動につなげたいと考えております。

■5軸制御立形マシニングセンタD300を開発



5軸制御立形マシニングセンタD300は、設計担当者が国内外の顧客に直接ヒアリング調査を行い、使いやすさを優先して開発した新製品です。

簡単な操作で、主軸とテーブルの衝突を防止する機能もあり、安心して作業できます。金型・部品加工用として、導入しやすく、期待する加工結果をもたらす5軸機としてご提案してまいります。

■イタリアのテクニカルセンタを移設

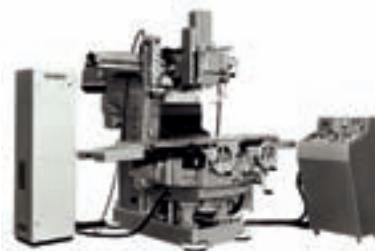


6月にミラノ近郊のカヴェナーゴ・ディ・ブリアンツァで、新テクニカルセンタの開所式が行われました。イタリアの自動車産業が盛り上がりを見せる中、実際に機械の性能をご覧いただく施設として、製品販売やアフターサービスで重要な役割を果たします。

■第13回歴史的価値のある工作機械の顕彰「ベストテクニカル賞」を受賞

受賞した3次元自動倣いラム型立フライス盤DUシリーズが開発された昭和40年代には、自動車や家電の金型が大型化する傾向にありました。しかし、金型メーカーの工場はそれほど広くない場合が多く、また従来の倣いフライス盤では加工精度・速度ともに不十分でした。

本機は革新的な技術によりこれらの課題を解決し、省スペースで大物金型を高精度に加工するという当時の要求に応えたことが受賞理由です。

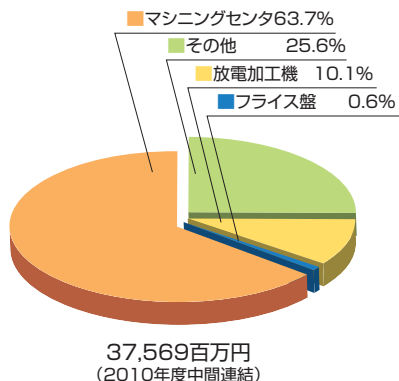
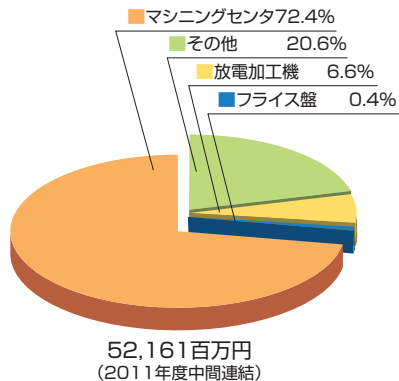


会社の概要 (2011年9月30日現在)

- 社 名 株式会社 牧野フライス製作所
- 英 文 社 名 Makino Milling Machine Co., Ltd.
- 所 在 地 〒152-8578 東京都目黒区中根 2丁目3番19号 電話 03(3717)1151(代表)
- 創 業 1937年5月
- 資 本 金 19,263百万円
- 従 業 員 1,407名(個別) 3,962名(連結)
- ホームページアドレス <http://www.makino.co.jp/>
- 主要な事業内容 工作機械(マシニングセンタ、NC放電加工機、NCフライス盤、フライス盤、FMS、CAD/CAM等)の製造・販売及び修理
- 取締役及び監査役
 - ※ 取締役社長 牧野 二郎
 - ※ 専務取締役 牧野 駿
 - 取 締 役 饗 場 達 明
 - 取 締 役 鈴 木 信 吾
 - 取 締 役 田 村 泰 幸
 - 取 締 役 永 野 敏 之
 - 常 勤 監 査 役 福 井 英 次
 - 監 査 役 尾 澤 弘 久
 - 監 査 役 蛭 田 和 夫

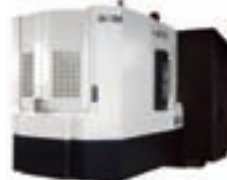
※印は代表取締役です。

機種別売上高推移



マシニングセンタ

マシニングセンタは工作機械の1つで、工具を自動で選択・交換ができ、穴あけや面削り等複数の加工を1台でこなします。工具を取り付け回転させる主轴が垂直位置の立形マシニングセンタと水平位置の横形マシニングセンタがあります。



当社の立形マシニングセンタは主に金型の加工に使われています。

当社の横形マシニングセンタは自動車、航空機、建設機械、エネルギー関連及び半導体製造装置などの産業で使用する部品の加工に幅広く使われています。

放電加工機

放電加工機は電気による放電エネルギーを利用して加工を行う機械です。形形放電加工機とワイヤ放電加工機があります。



ワイヤ放電加工機は主に自動車、IT製品、電気製品、半導体などの精密プレス金型の加工や医療機器などの精密部品加工に使われています。

形形放電加工機は主に自動車、IT製品、電気製品などのプラスチック金型やダイカスト金型の加工に使われています。

フライス盤

工具を回転させ平面、曲面、溝などを加工する機械です。汎用フライス盤とNCフライス盤があります。



株式の状況、株主メモ

株式の状況 (2011年9月30日現在)

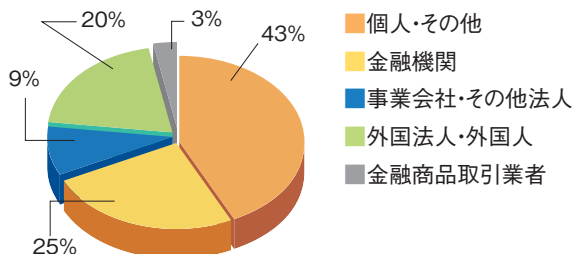
- 発行済株式の総数 119,944,543株
(自己株式8,687,081株を含む)
- 株主数 12,723名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,046	6.33
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,494	4.94
財団法人工作機械技術振興財団	4,469	4.02
牧野二郎	2,423	2.18
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,180	1.96
日本興亜損害保険株式会社	2,135	1.92
牧野駿	1,978	1.78
日本生命保険相互会社	1,760	1.58
牧野南津雄	1,740	1.56
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,626	1.46

(千株未満切捨て)

- (注) 1. 当社は、自己株式8,687千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金
受領株主確定日 3月31日

中間配当金
受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.makino.co.jp/>
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、企業情報、製品情報、投資家情報など、さまざまな情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、決算短信、有価証券報告書なども掲載しております。ぜひご覧ください。



<http://www.makino.co.jp/>

単元未満株式の買取請求（当社へのご売却）のご案内

当社の単元未満株式（1,000株未満の株式）をご所有の株主様は、この単元未満株式を当社に対し売却すること（買取請求）が可能となっております。

単元未満株式の買取りを希望される株主様は、次の口座管理機関にお申出ください。

- ・ 株主様が証券会社等に口座を開設し、株式をお預けになっている場合は、その口座開設先にお申出ください。
- ・ このほか、特別口座が開設されている株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください（連絡先は株主メモの項目をご参照ください）。

株式会社 牧野フライス製作所

本社 〒152-8578 東京都目黒区中根2-3-19

電話 03 (3717) 1151(代)

ホームページ <http://www.makino.co.jp/>

